

保健統計（旧カリ用）

[講義] 第3学年 前期 必修 1単位

《履修上の留意事項》基本的な算数・数学を使うため、義務教育レベルの算数・数学はできるようにしておくこと。

《担当者名》西 基 motoi@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

保健統計に関し、計算法を含んだ知識を習得する。解説のためのプリントも配付し、また、看護師・保健師国家試験問題などからの問題も適宜配付して演習を行う。

【学修目標】

1. 保健統計で使われる諸手法について説明できる。
2. データを使用した基本的な統計解析ができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	疫学の基本概念	疫学指標・記述疫学	西
2	統計解析	代表値・標準偏差と正規分布	西
3	分析疫学(1)	分析疫学とは・コホート研究	西
4	分析疫学(2)	症例対照研究	西
5	分析疫学(3)	偶然誤差・バイアス・精度と正確度・カイ2乗検定	西
6	介入研究・横断研究・臨床疫学(1)	介入研究の実際・横断研究の問題点・スクリーニング検査	西
7	臨床疫学(2)	カットオフ値とトレードオフ・ROC曲線	西
8	疫学の基礎	疫学の基礎概念(罹患率・死亡率・致命率・人年法など)	西
9	疫学調査法(1)	記述疫学・横断研究・因果関係の判定基準・年齢調整死亡率	西
10	疫学調査法(2)	コホート研究・相対危険度・寄与危険度	西
11	疫学調査法(3)	患者対照研究・オッズ比・バイアス・層化	西
12	臨床疫学	スクリーニング検査・カットオフ値・ROC曲線	西
13	保健統計学の基礎	代表値・標準偏差・正規分布・相関係数・グラフの種類	西
14	検定(1)	有意水準・t検定	西
15	検定(2)・平均余命	カイ2乗検定・平均余命の計算方法	西

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

原則として定期試験100%だが、提出物などを加味する場合がある。

【教科書】

『New Simple Step公衆衛生』、高橋茂樹・西 基、総合医学社（2学年時に購入済）

【備考】

上の「概要」に述べた如く、統計計算に関する演習などを適宜実施し、講義内容のフィードバックを行う。

【学修の準備】

予習として教科書の該当部分に目を通すことが望ましい。(30分)。復習は、講義のあった日には必ずすること。その際、計算問題などは必ず鉛筆を持って紙に書いて解き方を納得すること。何らかの事情で当日できなかった場合には、その週末にはすること。(30分)

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2： 看護専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

DP3： 社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。

【実務経験】

日本公衆衛生学会認定公衆衛生専門家。

【実務経験を活かした教育内容】

日本公衆衛生学会認定専門家としての実務経験を生かし、医療・保健の現場における保健統計の実際を踏まえて講義を進める。